



総合水沢病院

答弁 地元食材の使用や伝統食を取り入れるなど、連携に努めている。

質問 母子家庭等高等職業訓練促進について現状はどうか。

答弁 平成26年度は5名いる。希望者が増えたら、補正予算で対応する。

質問 人間ドックへの補助において、希望者が多く、すべて対応できていない状況である。補助人数の拡大をすべきである。

答弁 検討したい。

質問 国保税の滞納者に対し、資格証や短期証を発行すべきでないと考えるが。

答弁 納税意欲のない人に発行している。市独自の規準で子どもや障がい者がいる世帯には発行しない。

質問 水沢病院の建て替えについて、どう考えるか。

答弁 対応を考える時期にきている。市民、議会と協議していく。

質問 前沢診療所について、今後の方向は。

答弁 なくすことは考えていない。医師を確保するよう努めていく。

質問 江刺区梁川診療所の修繕は、一部修理して、使用していく。

産業経済部門

質問 国や県から、商店街や工業振興のための様々な補助金が出ている。アントナを高くして企業等にできるだけの確な説明をしてほしい。

答弁 商店街などへの補助金は、国や県から多く出ている。市としても説明できるように体制を整えている。できるだけ多くの企業で、有利な補助金が活用できるようにしていきたい。

質問 ロケ誘致の状況は。

答弁 藤原の郷を中心としたロケは、平成26年度は12作品という実績だった。平成25年度は13作品、平成24年度は11作品という推移である。大きい作品では、衣川で「リトルフォレスト」が誘致されている。平成27年度は、8月からNHKの大河ドラマで「真田丸」が決定している。飲食・宿泊も市内で完結できるように取り組んでいる。

質問 商店街活性化対策の中で、まち



えさし藤原の郷

なか交流館が総額の半分以上を占めていて、メリハリを持った内容である。成果をどう評価しているか。

答弁 まちなかに来ていただき、回遊もしてもらったための事業である。毎年6万人から7万人が、まちなか交流館を利用しており、集客は出来ていると評価している。回遊についての調査はしておらず、その点が今後の課題である。

質問 南部鉄器・岩谷堂筆筒などの伝統産業の後継者の育成が絶対不可欠であるが、その対策は。

答弁 伝統工芸技能継承者育成事業を3カ年実施して来ていて、平成27年9月で終了する。以降については、交付金を活用し、若手の育成を組合に委託する形で支援を考えている。

質問 マンネリ化しないように新しい

取組みが必要である。例えば水沢江刺駅の周辺の開発は、今から手掛けていくべきではないか。

答弁 これからの発展には欠かせない場所である。ILCの誘致を含め、具体性を持って進めていきたい。

質問 ジョブカフェ奥州の開設について、業者は確定したか。

答弁 業者選定は公募をし、審査会を開催した。その結果、奥州商工会議所に委託することに決定している。

建設環境部門

質問 空き家対策事業の内容とスケジュールは。

答弁 平成25年度実施した住宅・土地統計調査では市内の14・1%が空き家で、その内8・5%、4100戸が長期空き家というデータがある。実態を把握するため全棟調査を実施する。特定空き家の指定については、国のガイドラインが示された後に検討を進めたい。

質問 特定空き家に位置付けられるような空き家が、市内にも多数存在している。速やかな対応が必要と考えるが。

答弁 現状、空き家に関する問い合わせには職員が対応し、状況によっては適正管理をお願いする文書を発行している。措置法の施行により立ち入りが